

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1250号	氏名	松尾江美
論文審査担当者		主査教授	上平憲
		副査教授	近藤宇史
		副査教授	山下俊一
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価			
<p>イマチニブの慢性骨髄性白血病(CML)に対する分子標的薬としての高い評価が、実際の一般の臨床の現場でeligibilityの厳しい臨床試験の枠を超えてどのようなインパクトを与えているかを前向きに適切にデザインされた研究で明らかにしようとするもので、その目的は十分に妥当である。</p>			
2. 研究手法に関する評価			
<p>長崎県に発生した99例のCMLを前方向視的に追跡し、細胞遺伝学的ないし分子生物学的手法で病態の層別化を行い、イマチニブによる治療効果の評価も適切な統計学的処理が行われ、研究手法も妥当である。</p>			
3. 解析・考察の評価			
<p>一般臨床においても既・無治療例に関わらずイマチニブの高い寛解率と予後の改善が得られ、特に従来の治療法には見られなかった分子遺伝学的寛解が約7割におよぶことを明らかにし、その結果の解析や考察も適切である。</p>			
<p>以上のように、本研究は大規模臨床試験では得難い質の高い臨床研究で造血器腫瘍の治療を中心とする臨床医学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			